キャラクター名: 古多　望夢

プレイヤー名:

シンドローム	ハヌマーン オルクス	ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	17	性別	女
覚醒	無知	衝動	飢餓	初期侵食率	29 %
出自	天涯孤独	経験	UGN：秘密	邂逅	ビジネス

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	2	0	0			2
精神	2	1	3			6
社会	3	0	0			3

HP	28
行動値	10
(非装備時)	10
戦闘移動	15
全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	3		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報:ビジネス	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
サイレンスレイン 79↓	ＲＣ	7r+3		25		侵食値8上昇　1+3を組み合わせた範囲攻撃
沈黙の領域　100↑	ＲＣ	9r+13		92		侵食値19上昇　事前に5を行い、1+2+3+4を組み合わせディープエロージョンを使った必殺の単体攻撃

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：UGN幹部	
コネ：手配師	
コネ：要人への貸し	
コネ：コーポレート	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
超侵食（ディープエロージョン）	P	N		
リンネ	P　友情	N　偏愛		
古多　望無	P　懐旧	N　憎悪		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	6	残り財産P：	2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
雨粒の矢	5	3	メジャー	視界	シーン（選択）	対決	-	
効果：	攻撃力を+Lv*2する射撃攻撃。コンセントレイトを組み合わせられない							
マシラのごとく	3	5	メジャー	-	単体	対決	80	
効果：	組み合わせた攻撃の攻撃力をLv*10する。ただし判定のダイスは-５される。							
サイレンの魔女	5	5	メジャー	視界	シーン（選択）	対決	-	
効果：	攻撃力を+Lv*3する射撃攻撃。装甲値を無視できる。コンセントレイトを組み合わせられない							
完全なる世界	3	6	メジャー	-	-	対決	100	
効果：	組み合わせた攻撃の判定ダイスをLv+1する。攻撃力を+Lv*3する							
奈落の法則	3	4	セットアップ	至近	範囲	自動成功		
効果：	ラウンドの間、対象が行うあらゆるC値を+1する							
無音の空間	1	-	メジャー	視界	単体	自動成功	-	
効果：	自身や隠したいものの音と匂いを遮断し、気配を断つエフェクト							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

古多　望夢（フルタ　ノゾム）
アバターは博麗霊夢
博麗神社は古いものが多く集い、霊夢という望まれた人物がいる場所という理屈で名前を設定的に変えたくないがゆえにこじらせた設定。ゆえにアバターは博麗霊夢
ハヌマーンとオルクスのクロスブリード。

「私は古多望夢。UGNチルドレンよ。
家族はいたけど捨てられた。それも女だからっていう家の事情と勝手な都合でね。
双子の兄がいるのだけれど、私と違って兄はあの家で待ち望まれた男子としてあのふざけた家で過ごしているわ。
ちなみに名前は兄の名前を親しみと憎しみを込めて名乗っている。
兄の名前は望無だけど、私は望夢と名乗っているわ。理由は簡単なことよ。彼への親しみと憎しみを忘れないため。
でも、本当は兄と一緒に暮らしたかったという思いがあるのも嘘とは言えないわね。
自分でもどうかと思うのだけれど、憎しみと怒り以外の感情表現が苦手みたい。
悲しむこともそうだけど笑うということがどうも得意じゃないの。
顔は綺麗だから笑ったら？なんてよく言われるけど苦手なものは苦手。あまり触れてほしくないの。
だって、心の底から笑えなくなったら文字通り私は化け物になる。それだけは避けたいから。」